

いる。より幅広い日常生活動作として手段的日常生活動作（Instrumental Activities of Daily Living；IADL）がある。しかし、既存のIADL評価法も介護状況を把握することを目的に作成されたものがほとんどである。しかし在宅で自立した生活を送る高齢者の支援に関して、齋藤ら(2001)の「高齢者の自立性に関して主要な支援対象となるのは、社会的に独立した生活を営む能力」であると指摘するように、高齢社会における支援を検討する際、自立支援と予防が重要である。そのためには独立した生活を支える必要があり、独立した生活の基盤となる日常生活活動の状態とそれを阻害する要因を把握し、予防的介入を行っていくことが求められる。

平成13年度長寿科学総合研究事業「痴呆予防と初期痴呆高齢者に対する日常生活支援の方法に関する研究」(主任研究者：長嶋紀一)の分担研究報告「在宅高齢者の日常生活活動（ADL・IADL）に関する研究」においては、介護予防の観点から、高齢者が日常生活を営む上で必要とされるADL・IADLの項目の検討を中心に研究を行った。東京都世田谷区の在宅高齢者を対象に日常生活動作としてADL・IADLに関する面接調査を行い、その結果、ADL・IADL39項目から日常生活動作に関する10因子を抽出した。10因子の内容は、第1因子「家計の管理」、第2因子「家事」、第3因子「他者との交流」、第4因子「段取りと実行」、第5因子「スムーズな身辺動作の衰え」、第6因子「足腰の衰え」、第7因子「交通手段の利用」、第8因子「感覚器官の衰え」、第9因子「出版物を読む」、第10因子「電話の利用」であった。

さらに、平成13年度の結果から、ADL・IADLの自立度の程度と外出状況、主観的健康感の程度が関連することが明らかになった。ADL・IADLは自己回答式の調査であり、回答者の主観的ADL・IADLである。それに関連する日常生活の状況との関連を明らかにすることにより、高齢者への予防的介入の方策を探ることが可能になると考える。本研究は、昨年度の研究成果を踏まえ、ADL・IADLの因子構造の再確認とADL・IADLに関連する要因の検討を検討し、高齢者のADL・IADLの向上維持を図る方策を検討することを目的とした。

【対象と方法】

対象者：宮城県気仙沼市大島地区の高齢者1550名を対象とした。有効回答

は1134名，有効回答率は73.2%であった．1134名の対象者の中から，以下の用件に該当する者を対象とした．

- ① 年齢が65歳以上85歳以下で，
- ② 介護保険の要介護認定で要支援にも要介護にも認定されていない自立した者で，
- ③ 改訂長谷川式簡易知能評価スケール（以下HDS-Rと略す）が21点以上の者で，
- ④ データ欠損の無い者

以上の用件に該当した596名を対象とした．対象者の内訳を，Table.1に示した．

Table1 対象の人数と平均年齢

	人数(N)	平均年齢(年)	標準偏差(年)
男性	231	72.6	5.09
女性	365	73.3	5.12
全体	596	73	5.12

質問項目：質問項目は，年齢，性別，家族構成の基礎項目に加え，ADL・IADL20項目，身体の状態の確認として外来通院の有無，入院経験の有無であった．

ADL・IADL20項目は，平成13年度長寿科学総合研究事業「痴呆予防と初期痴呆高齢者に対する日常生活支援の方法に関する研究」（主任研究者：長嶋紀一）の分担研究報告「在宅高齢者の日常生活活動（ADL・IADL）に関する研究」（以下，平成13年度ADL・IADL研究と略す）において使用した39項目から，因子分析により抽出された10因子から，各因子から因子得点の高い2項目合計20項目とした．

方 法：訪問面接法により調査を実施した。

【結果・考察】

結果は、ADL・IADL20項目の因子分析、ADL・IADLと性別との関連、ADL・IADLと年齢との関連、ADL・IADLと外来通院の有無ならびに入院経験の有無との関連について整理した。

(1)ADL・IADLの因子分析の結果

因子分析の結果をTable.2に示した。因子分析は主成分法で因子を抽出後、10因子に決定し、バリマックス法で直交回転を行った。各因子の因子負荷量の高い順に並べた。すべての因子が0.5以上であった。下段に寄与率を示した。寄与率の合計は74.3%であり、極めて高い値であった。

Table2 ADL-IADL項目の因子分析

項目内容	成分									
	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6	因子7	因子8	因子9	因子10
⑬一人でバスや電車などを利用して、あるいは自分ですら運転して出かけることが出来ますか	0.850	0.017	0.093	0.122	0.062	0.055	-0.019	0.181	0.063	-0.045
⑭バスや電車などを使って一人で外出しますか	0.841	0.038	0.113	-0.012	0.083	0.077	0.061	0.029	0.212	0.084
⑮自分で電話をかけますか	0.020	0.893	0.123	-0.030	-0.015	-0.049	0.029	0.032	-0.074	-0.021
⑯自分で電話番号を調べて電話をかけることが出来ますか	0.030	0.887	-0.055	-0.024	0.012	0.040	-0.051	-0.051	0.060	0.141
⑰自分で掃除ができますか	0.144	-0.034	0.844	0.010	0.098	0.069	-0.025	0.011	0.007	0.083
⑱自分で食事の用意ができますか	0.035	0.100	0.816	0.028	0.032	-0.009	0.032	0.078	0.187	-0.025
⑲手があまりにいく洗髪がしづらいですか	0.060	-0.028	0.021	0.874	0.024	0.032	0.106	0.018	0.064	0.012
⑳浴槽の出入りがつらいですか	0.041	-0.026	0.030	0.849	-0.019	0.152	0.102	-0.017	0.039	-0.004
㉑家族や友人の相談にのることがありますか	0.029	-0.038	0.029	0.011	0.818	-0.036	-0.046	0.185	-0.063	0.031
㉒友達の家を訪ねることがありますか	0.102	0.032	0.114	-0.010	0.760	0.072	0.048	-0.015	0.191	0.040
㉓多少の段差でつまづくことがありますか	0.043	0.008	-0.025	0.046	0.079	0.872	0.003	-0.006	0.060	-0.010
㉔長時間歩くのがつらいですか	0.081	-0.019	0.098	0.147	-0.043	0.779	0.098	0.179	0.014	0.057
㉕においがぶくなってきたと感じますか	-0.053	0.042	0.047	0.100	0.053	0.020	0.847	0.007	-0.026	-0.067
㉖食べ物の味がよわからなくなってきましたか	0.090	-0.063	-0.045	0.103	-0.054	0.072	0.820	0.027	0.002	0.105
㉗はじめての場所でも一人で計画を立てて旅行することができますか	0.206	-0.043	0.080	0.013	-0.048	0.058	0.014	0.828	0.061	0.060
㉘何かの会の世話係や会計係が務められますか	-0.002	0.031	0.015	-0.015	0.313	0.124	0.026	0.735	0.165	0.057
㉙銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	0.178	-0.036	0.095	0.038	0.008	0.049	-0.028	0.166	0.839	0.026
㉚日用品の買い物をすることができますか	0.230	0.036	0.368	0.204	0.274	0.063	-0.022	0.044	0.572	-0.008
㉛新聞を読んでいますか	0.093	0.111	0.119	0.071	-0.014	0.038	-0.013	-0.006	-0.163	0.856
㉜本や雑誌を読んでいますか	-0.085	0.014	-0.086	-0.090	0.133	0.009	0.073	0.175	0.372	0.663
寄与率(%)	8.158	8.127	8.099	8.019	7.380	7.239	7.211	6.988	6.852	6.191

注)項目内容の項目文の先頭についている丸印番号は、調査項目の表示順の番号。

抽出された10因子は以下のとおりであった。

第1因子は「一人でバスや電車などを利用して、あるいは自分で運転して出かけることが出来ますか」「バスや電車などを使って一人で外出できますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「交通手段の利用」の2項目であった。

第2因子は「自分で電話をかけますが」「自分で電話番号を調べて電話をかけることが出来ますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「電話の利用」の2項目であった。

第3因子は「自分で掃除ができますか」「自分で食事が用意できますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「家事」の2項目であった。

第4因子は「手が上がりにくく洗髪がしづらいですか」「浴槽の出入りがつらいですか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「スムーズな身辺動作の衰え」の2項目であった。

第5因子は「家族や友人の相談にのることがありますか」「友達の家を訪ねることがありますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「他者との交流」の2項目であった。

第6因子は「多少の段差でつまずくことがありますか」「長時間歩くのがつらいですか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「足腰の衰え」の2項目であった。

第7因子は「においがにぶくなってきたと感じますか」「食べ物の味が良く分からなくなってきたと感じますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「感覚器官の衰え」の2項目であった。

第8因子は「はじめての場所でも一人で計画を立てて旅行することができますか」「何かの会の世話係や会計係が務められますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「段取りと実行」の2項目であった。

第9因子は「銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか」「日曜日の買い物をする事ができますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「家計の管理」の2項目であった。

第10因子は「新聞を読んでいますか」「本や雑誌を読んでいますか」の2項目であった。この2項目は、平成13年度ADL・IADL研究で抽出された「出版物を読む」の2項目であった。

以上より、平成13年度ADL・IADL研究の39項目から得られた因子構造と、本研究

の20項目の因子構造は同一の因子構造を持つことが示された。なお、以下の結果では、平成13年度ADL・IADL研究で得られた10因子の命名順に項目を提示していく。

すなわち、「家計の管理」を第1因子に、「家事」を第2因子に、「他者との交流」を第3因子に、「段取りと実行」を第4因子に、「スムーズな身辺動作の衰え」を第5因子に、「足腰の衰え」を第6因子に、「交通手段の利用」を第7因子に、「感覚器官の衰え」を第8因子に、「出版物を読む」を第9因子に、「電話の利用」を第10因子とした。

(2) ADL・IADLとの関連

ADL・IADL項目と対象者の属性との関連を検討した結果、まず、平成13年度ADL・IADL研究で示された家族同居の形態とADL・IADLとの関連は、本研究では認められなかった。

次に性別との関連の結果をTable.3に示した。男女間でADL・IADLの各項目で得点の平均値による比較検討を行った結果、第2因子の「家事」の1項目、第3因子の「他者との交流」の1項目、第10因子の「電話の利用」の2項目では、女性が男性に比して有意に高い結果を示した。つまり、女性は上記4項目に関しては、男性よりも「できる」もしくは「している」と回答していた。

一方第4因子の「段取りと実行」の2項目、第5因子の「スムーズな動作の衰え」の1項目、第6因子の「足腰の衰え」の2項目、第7因子の「交通手段の利用」の2項目、第8因子の「感覚器官の衰え」の1項目、第9因子の「出版物を読む」の1項目では、男性が女性に比して有意に高い結果を示した。つまり男性は上記9項目に関しては、女性より「できている」もしくは「している」と回答していた。なお、第5因子、第6因子、第8因子について、男性は低下を感じておらず、女性のほうが男性に比してこの4項目に関しては、低下を自覚している結果であった。

女性は、第2因子の「家事」、第3因子の「他者との交流」、第10因子の「電話の利用」が男性に比して自立度が高い一方で、第5因子の「スムーズな動作の衰え」第6因子の「足腰の衰え」、第8因子の「感覚器官の衰え」の低下を示しており、家事は行い、他者との交流など社会的活動は維持されているものの、身体的な機能の低下を自覚している度合いが男性より高い傾向が示されたといえる。一方男性においては、第5因子の「スムーズな動作の衰え」、第6因子の「足腰の衰え」、第8因子の「感覚器官の衰え」

の低下は女性に比して示されず、第4因子の「段取りと実行」、第7因子の「交通手段の利用」、第9因子の「出版物を読む」の自立度が高く、女性に比して身体的機能が維持されているとともに外に出て行く社会的活動も維持されていることが示されたといえる。

次に対象者の年齢を、65-69歳、70-74歳、75-79歳、80-85歳の4群に区分し、ADL・IADL項目と年齢との関連を一元配置の分散分析により検討した。その結果をTable.4に示した。その結果第1因子の「家計の管理」の2項目、第4因子の「段取りと実行」の2項目、第5因子の「スムーズな身辺動作の衰え」の1項目、第6因子の「足腰の衰え」の2項目、第7因子の「交通手段の利用」の2項目において主効果を認めた。各項目の下位検定の結果をTable.5, 6, 7, 8, 9ならびにFigure.1, 2, 3, 4, 5に示した。

Table4 ADL・IADL項目と年齢群間の関連

		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
①日用品の買い物をすることができますか	グループ間	0.94	3	0.314	6.969	0.000 **
	グループ内	26.65	592	0.045		
	合計	27.59	595			
②銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	グループ間	2.03	3	0.676	6.972	0.000 **
	グループ内	57.44	592	0.097		
	合計	59.47	595			
③自分で食事の用意ができますか	グループ間	0.25	3	0.084	2.021	0.110
	グループ内	24.61	592	0.042		
	合計	24.87	595			
④自分で掃除ができますか	グループ間	0.12	3	0.039	2.395	0.067
	グループ内	9.71	592	0.016		
	合計	9.83	595			
⑤友達の家を訪ねることがあります	グループ間	0.59	3	0.196	2.358	0.071
	グループ内	49.34	592	0.083		
	合計	49.92	595			
⑥家族や友人の相談にのることがあります	グループ間	0.41	3	0.138	1.711	0.164
	グループ内	47.87	592	0.081		
	合計	48.29	595			
⑦何かの会の世話係や会計係が務められますか	グループ間	3.34	3	1.115	4.644	0.003 **
	グループ内	142.11	592	0.240		
	合計	145.45	595			
⑧はじめての場所でも一人で計画を立てて旅行することができますか	グループ間	6.98	3	2.327	9.704	0.000 **
	グループ内	141.99	592	0.240		
	合計	148.97	595			
⑨手があがりによく洗髪がしづらいですか	グループ間	0.14	3	0.047	0.438	0.726
	グループ内	63.16	592	0.107		
	合計	63.30	595			
⑩浴槽の出入りがつらいですか	グループ間	1.20	3	0.399	4.480	0.004 **
	グループ内	52.76	592	0.089		
	合計	53.96	595			
⑪長時間歩くのがつらいですか	グループ間	3.71	3	1.236	5.205	0.001 **
	グループ内	140.58	592	0.237		
	合計	144.29	595			
⑫多少の段差でつまずくことがありますか	グループ間	2.61	3	0.870	3.774	0.011 **
	グループ内	136.44	592	0.230		
	合計	139.05	595			
⑬一人でバスや電車などを利用して、あるいは自分で車を運転して出かけることができますか	グループ間	1.65	3	0.550	4.204	0.006 **
	グループ内	77.52	592	0.131		
	合計	79.17	595			
⑭バスや電車などを使って一人で外出しますか	グループ間	1.32	3	0.440	4.258	0.005 **
	グループ内	61.22	592	0.103		
	合計	62.54	595			
⑮食べ物の味がよくわからなくなってきたと感じますか	グループ間	0.11	3	0.038	0.432	0.730
	グループ内	51.44	592	0.087		
	合計	51.55	595			
⑯においがぶくなってきたと感じますか	グループ間	0.43	3	0.142	1.292	0.276
	グループ内	65.14	592	0.110		
	合計	65.56	595			
⑰新聞を読んでいますか	グループ間	0.31	3	0.102	1.496	0.215
	グループ内	40.45	592	0.068		
	合計	40.75	595			
⑱本や雑誌を読んでいますか	グループ間	0.08	3	0.028	0.115	0.951
	グループ内	145.21	592	0.245		
	合計	145.29	595			
⑲自分で電話をかけますか	グループ間	0.06	3	0.022	1.094	0.351
	グループ内	11.69	592	0.020		
	合計	11.76	595			
⑳自分で電話番号を調べて電話をかけることができますか	グループ間	0.01	3	0.002	0.129	0.943
	グループ内	7.89	592	0.013		
	合計	7.89	595			

** : p<0.01, * : p<0.05

注) 項目内容の項目文の先頭についている丸印番号は、調査項目の表示順の番号。

Table5 ADL-IADL項目の下位検定結果(家計の管理)

①日用品の買い物をすることができますか				
	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
Tukey B(a,b)	80-85歳	71	0.845	
	70-74歳	191	0.958	
	75-79歳	165	0.964	
	65-69歳	169	0.976	

②銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか				
	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
Tukey B(a,b)	80-85歳	71	0.746	
	75-79歳	165	0.879	
	70-74歳	191	0.895	
	65-69歳	169	0.947	

Table6 ADL-IADL項目の下位検定結果(段取りと実行)

⑦何かの会の世話係や会計係が務められますか				
	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
Tukey B(a,b)	80-85歳	71	0.38	
	75-79歳	191	0.586	
	70-74歳	165	0.594	
	65-69歳	169	0.633	

⑧はじめての場所でも一人で計画を立てて旅行することができますか					
	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ		
			1	2	3
Tukey B(a,b)	80-85歳	71	0.254		
	75-79歳	165	0.43		
	70-74歳	191	0.55 0.55		
	65-69歳	169	0.592		

Table7 ADL・IADL項目の下位検定結果(スムーズな身辺動作の衰え)

	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
			Tukey B(a,b)	80-85歳
	75-79歳	165	0.855	
	70-74歳	191	0.916	0.916
	65-69歳	169		0.953

Table8 ADL・IADL項目の下位検定結果(足腰の衰え)

	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ		
			1	2	3
			Tukey B(a,b)	80-85歳	71
	75-79歳	165	0.515	0.515	
	70-74歳	191		0.634	0.634
	65-69歳	169			0.669

⑫多少の段差でつまずくことがありますか

	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
			Tukey B(a,b)	75-79歳
	80-85歳	71	0.563	
	70-74歳	191	0.634	0.634
	65-69歳	169		0.722

Table9 ADL・IADL項目の下位検定結果(交通手段の利用)

⑬一人でバスや電車などを利用して、あるいは自分で車を運転して出かけることができますか

	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
			Tukey B(a,b)	80-85歳
	75-79歳	165	0.788	
	70-74歳	191	0.869	0.869
	65-69歳	169		0.899

⑭バスや電車などを使って一人で外出しますか

	年齢群	度数	$\alpha = .05$ のサブグループ	
			1	2
			Tukey B(a,b)	80-85歳
	75-79歳	165	0.842	0.842
	70-74歳	191		0.911
	65-69歳	169		0.923

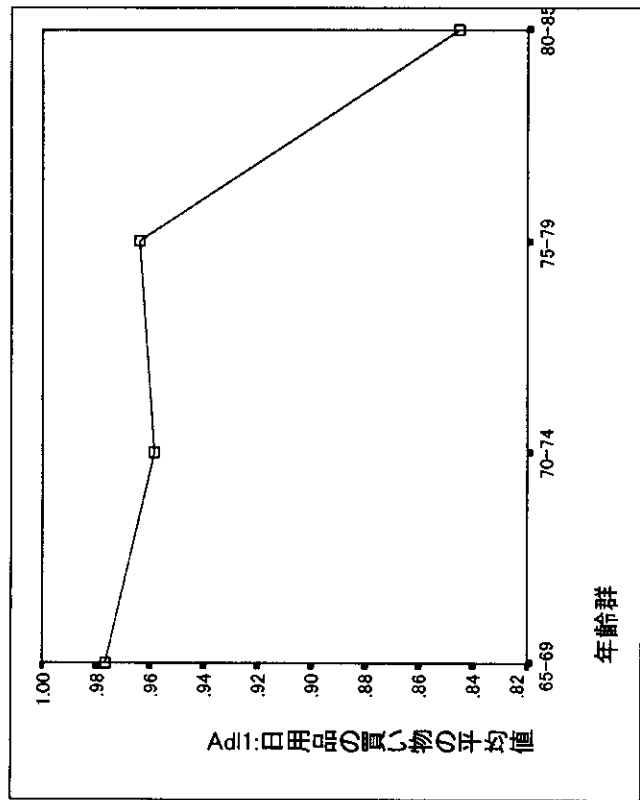
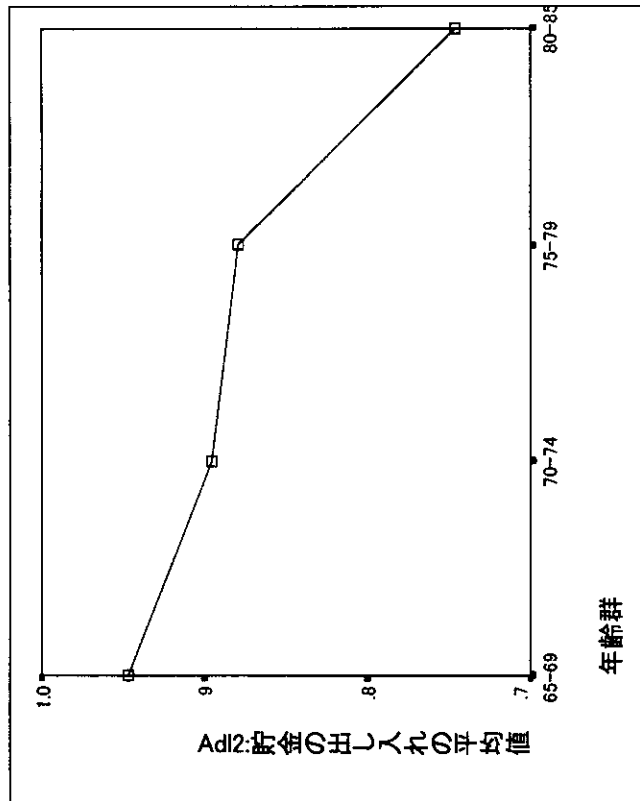


Figure1

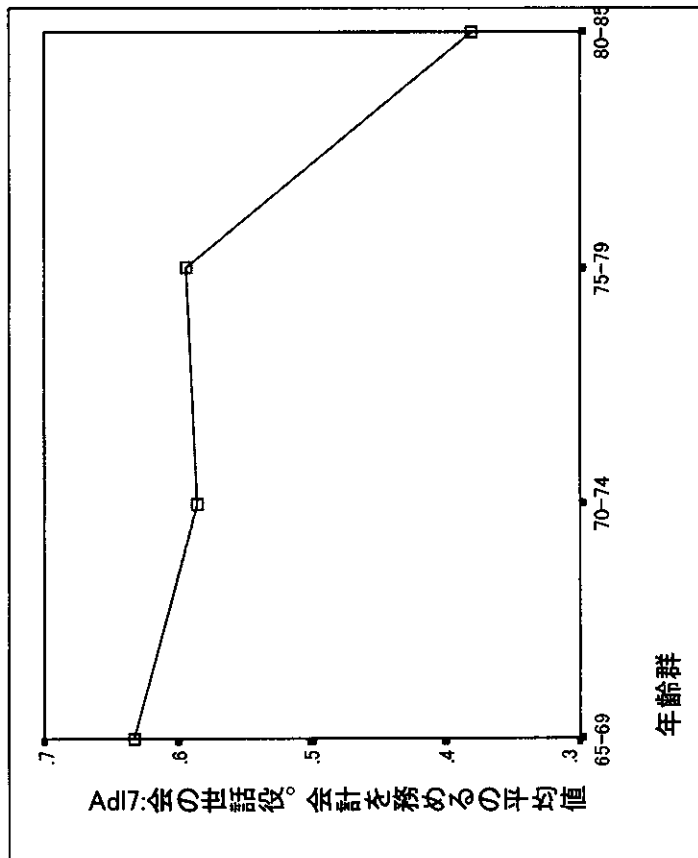
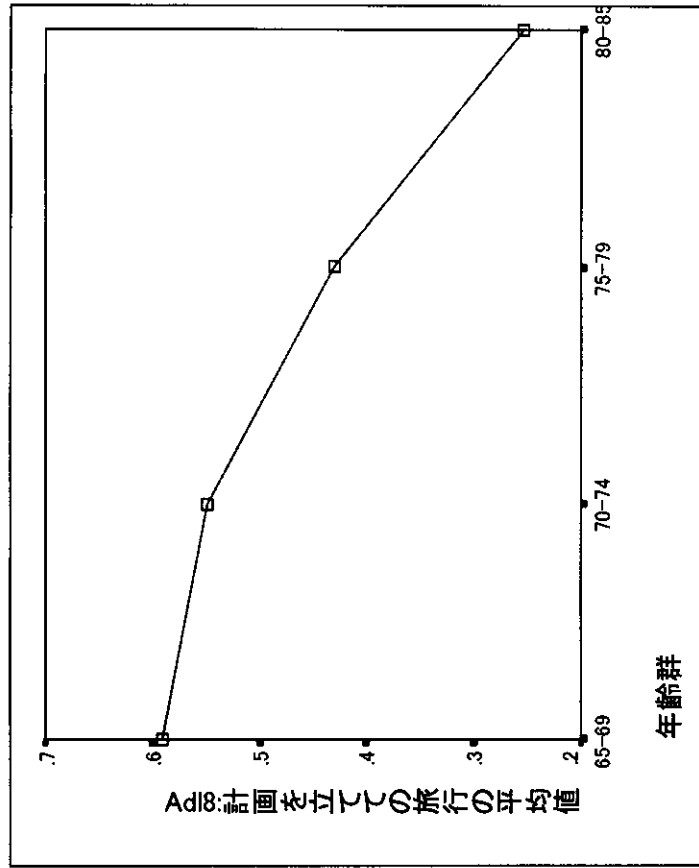


Figure2

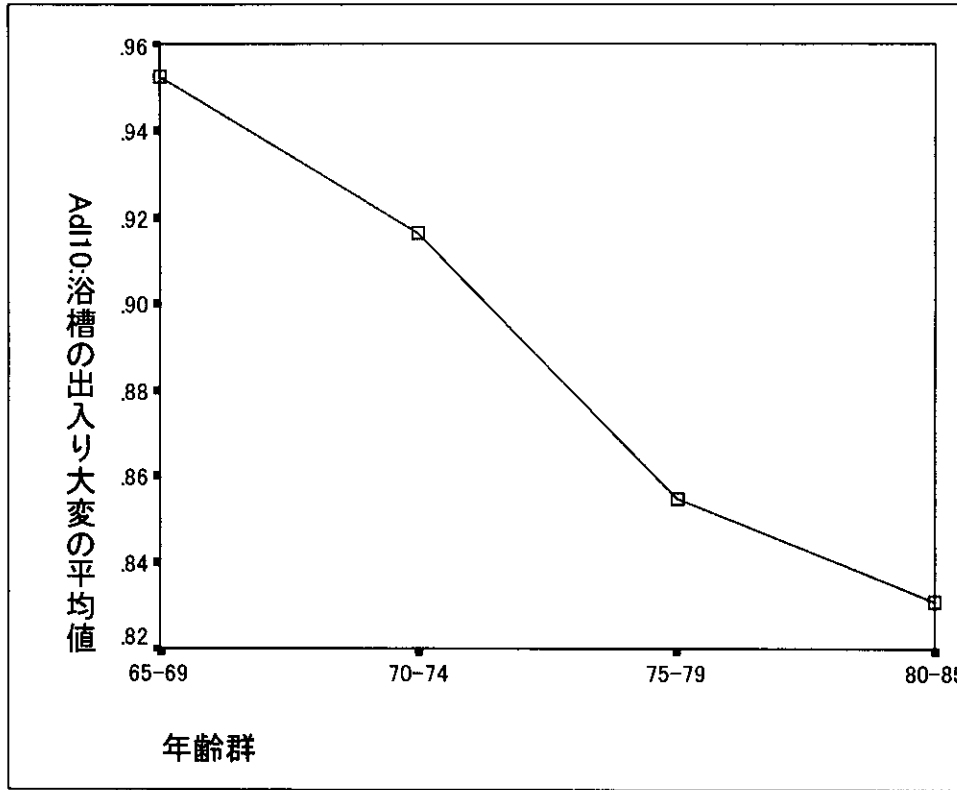


Figure3

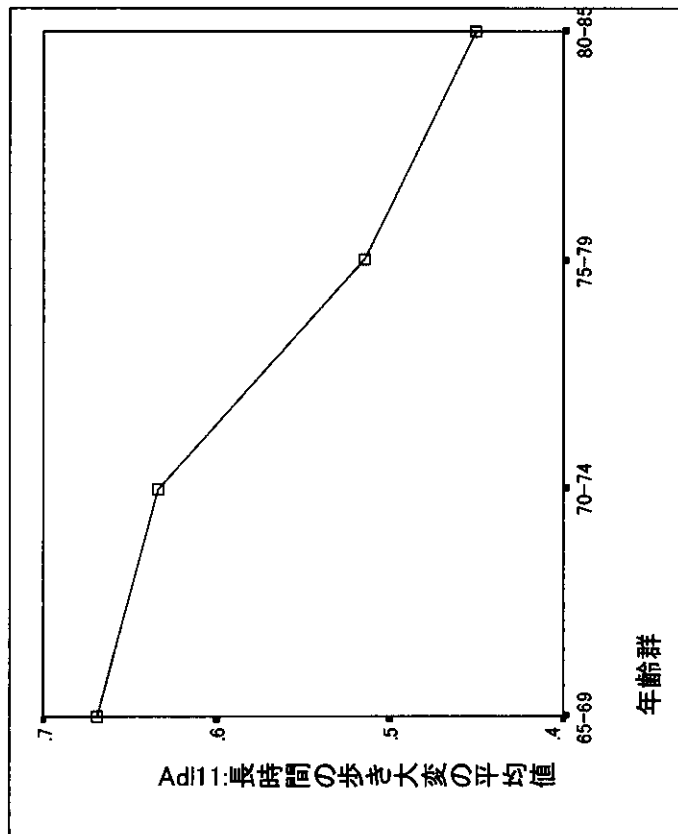
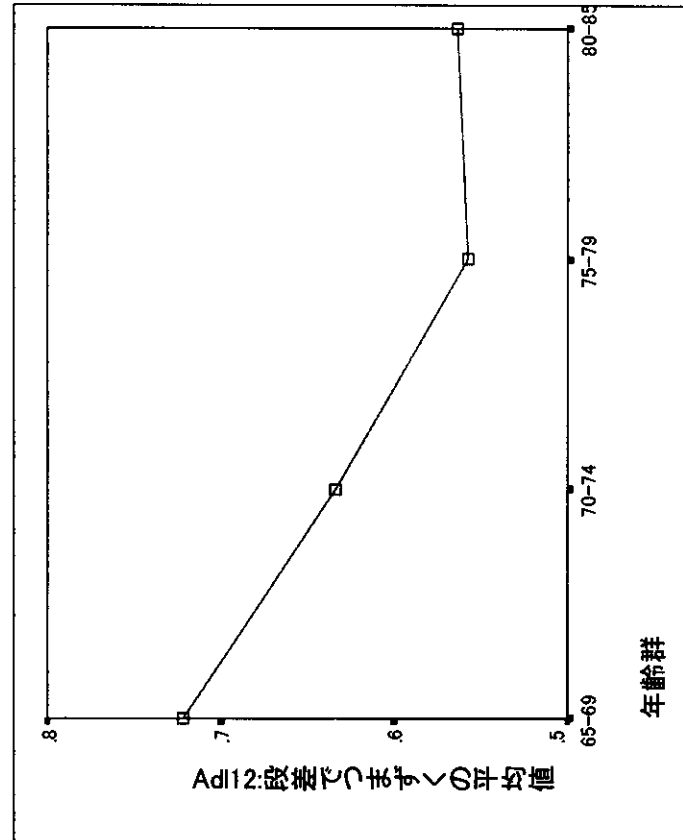


Figure4

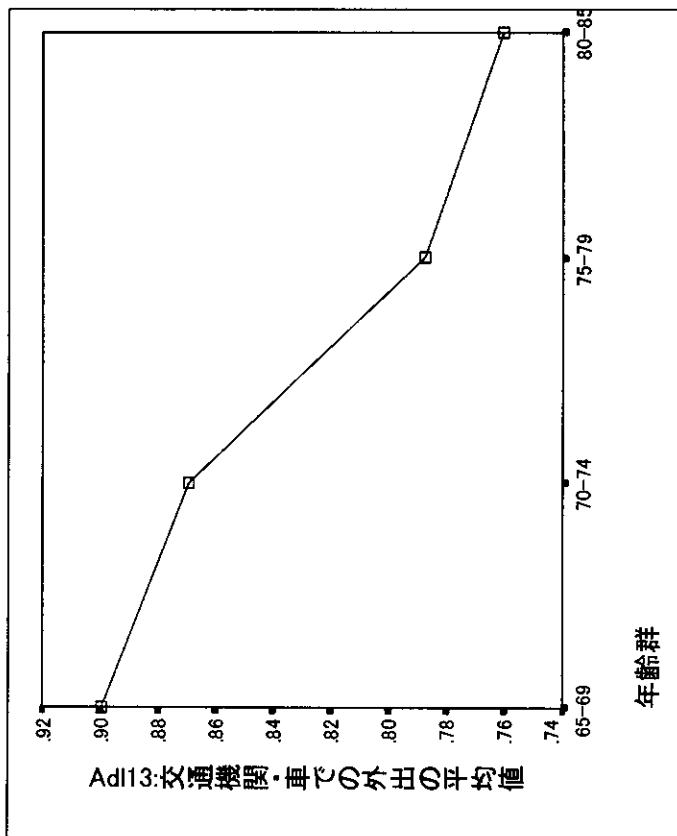
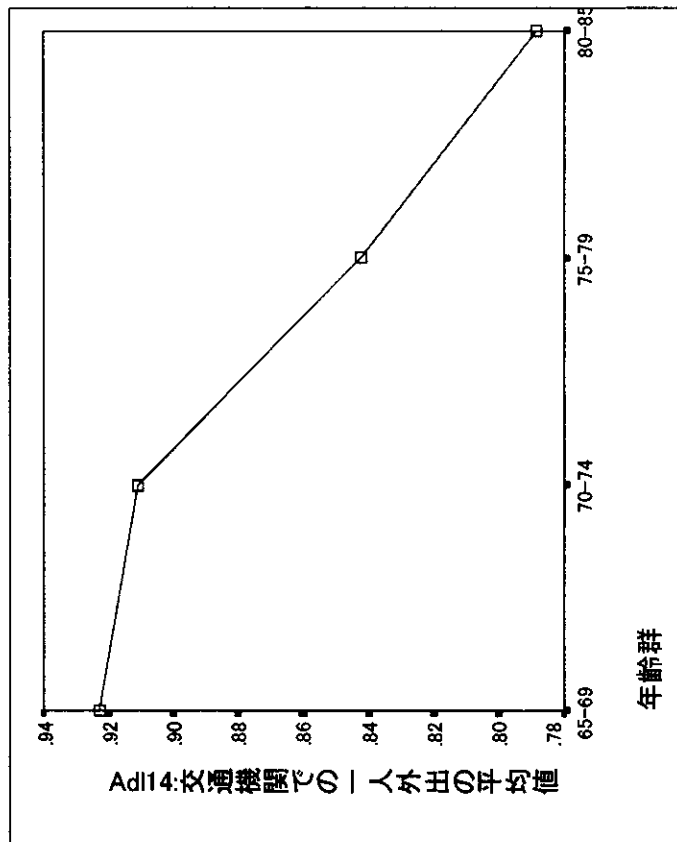


Figure5

第1因子の「家計の管理」では、2項目とも79歳以下の3群と80-85歳の群の間に有意差が認められた。80-85歳の群では家計の管理の自立度が他の年齢群に比して低下している傾向が示された。

次に、第4因子の「段取りと実行」では、項目⑦は79歳以下の3群と80-85歳の群の間に有意差を認めた。項目⑧では80-85歳の群と75-79歳の群以下で有意差を示し、かつ75-79歳の群と65-69歳の群の間でも有意差を示した。世話係や会計係については、80-85歳以上で自立度が他の年齢分に比して低下している傾向を示した。一方、一人で計画立てての旅行については、加齢に従いその自立度が低下していく傾向を示し、世話係や会計係などの社会的活動より先に加齢の影響を受けやすいことが示された。

第5因子の「スムーズな身辺動作の衰え」では、「浴槽の出入りがつらい」の項目であり、69歳以下の群と75歳以上の2群の間に有意差を示した。75歳以上において身体的な衰えの影響を受けやすいことが示された。

第6因子の「足腰の衰え」では項目⑩が80歳以上と75-79歳の群で有意差を示し、かつ75-79歳以上の2群と65-69歳の群で有意差を示した。項目□では65-69歳の群と75-79歳以上の2群で有意差を示した。2項目とも75歳以上から足腰の衰えが認められる傾向が示された。

第7因子の「交通手段の利用」では、項目⑬は75歳以上の2群と65-69歳の群で有意差を認めた。項目⑭では70-74歳以下の2群と80-85歳以上の群で有意差を認めた。一人で交通機関を利用あるいは自動車の運転をする場合は、早期に加齢の影響を受けやすいが、バス電車の外出の場合は、加齢の影響が後期に受ける傾向が認められた。

ADL・IADLとの年齢の関連では、第1因子の「家計の管理」第4因子の「段取りと実行」第7因子の「交通手段の利用」の社会的活動に伴うものと、第5因子の「スムーズな身辺動作の衰え」第6因子の「足腰の衰え」の身体動作に伴うものが加齢の影響を受ける結果を示した。その中で、身体動作に伴うと考えられる項目⑧の旅行や項目⑬の外出は高齢早期に加齢の影響を受けており、身体的活動性が社会的活動性を伴う行動に関連していることが推察される。

本研究の結果は、平成13年度ADL・IADL研究の結果と、第4因子、第5因子、第6因子、第7因子においては同様の結果であった。前年度の結果では第1因子の「家事」と第9因子の「感覚器官の衰え」に加齢の影響を認めしたが、本研究においてはこの2因子については、加齢の影響を認めなかった。

一方で前年度加齢の影響を認めなかった第1因子の「家計の管理」において加齢の影響を認めた。しかし昨年度の研究の対象者は80歳以下の者を対象としていた。本研究の第1因子の結果は、80-85歳群で有意差を示しており、対象の相違が結果の相違に示されたといえる。

次にADL・IADL項目と外来通院の有無との関連の結果をTable.10に示した。外来通院の有り、なしでADL・IADLの各項目で得点の平均値による比較検討を行った結果、第1因子の「家事」の1項目、第3因子の「他者との交流」の1項目、第4因子の「段取りと実行」の1項目、第6因子の「足腰の衰え」の2項目、第8因子の「感覚器官の衰え」の2項目、第9因子の「出版物を読む」の1項目において有意差を認めた。各因子の項目において、外来通院のある者が、通院の無い者に比して、ADL・IADLの自立度が低い結果であった。何らかの疾患を有していることが、ADL・IADLの自立度の低下に関連していることが示された。

Table10 ADL・IADL項目と外来通院の有無との関連

項目名	外来通院	N	平均値	標準偏差	F値	有意確率
ADL/IADL合計	有り	349	26.95	2.14	0.009	0.927
	なし	246	26.86	2.14		
①日用品の買い物をする事ができますか	有り	349	0.94	0.24	9.776	0.002 **
	なし	246	0.97	0.18		
②銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	有り	349	0.88	0.33	2.041	0.154
	なし	246	0.90	0.30		
③自分で食事の用意ができますか	有り	349	0.96	0.20	0.041	0.839
	なし	246	0.96	0.21		
④自分で掃除ができますか	有り	349	0.98	0.13	0.030	0.862
	なし	246	0.98	0.13		
⑤友達の家を訪ねることがありますか	有り	349	0.89	0.31	7.609	0.006 **
	なし	246	0.93	0.26		
⑥家族や友人の相談にのることがありますか	有り	349	0.91	0.29	0.284	0.594
	なし	246	0.91	0.28		
⑦何かの会の世話係や会計係が務められますか	有り	349	0.52	0.50	42.104	0.000 **
	なし	246	0.67	0.47		
⑧はじめての場所でも一人で計画を立てて旅行することができますか	有り	349	0.44	0.50	0.321	0.571
	なし	246	0.57	0.50		
⑨手があがりにくく洗髪がしづらいですか	有り	349	0.87	0.33	0.818	0.366
	なし	246	0.89	0.32		
⑩浴槽の出入りがつらいですか	有り	349	0.90	0.30	0.011	0.915
	なし	246	0.90	0.30		
⑪長時間歩くのがつらいですか	有り	349	0.55	0.50	21.506	0.000 **
	なし	246	0.65	0.48		
⑫多少の段差でつまづくことがありますか	有り	349	0.59	0.49	24.257	0.000 **
	なし	246	0.69	0.46		
⑬一人でバスや電車などを利用して、あるいは自分で車を運転して出かけることができますか	有り	349	0.85	0.36	0.267	0.605
	なし	246	0.84	0.37		
⑭バスや電車などを使って一人で外出しますか	有り	349	0.88	0.32	0.109	0.741
	なし	246	0.88	0.33		
⑮食べ物の味がよくわからなくなってきたと感じますか	有り	349	0.87	0.33	39.464	0.000 **
	なし	246	0.95	0.22		
⑯においがにぶくなってきたと感じますか	有り	349	0.85	0.35	12.885	0.000 **
	なし	246	0.90	0.30		
⑰新聞を読んでいますか	有り	349	0.92	0.27	0.575	0.448
	なし	246	0.93	0.25		
⑱本や雑誌を読んでいますか	有り	349	0.56	0.50	5.350	0.021 *
	なし	246	0.61	0.49		
⑲自分で電話をかけますか	有り	349	0.98	0.14	0.002	0.964
	なし	246	0.98	0.14		
⑳自分で電話番号を調べて電話をかけることができますか	有り	349	0.99	0.12	0.197	0.657
	なし	246	0.99	0.11		

** : p<0.01, * : p<0.05

注) 項目内容の項目文の先頭についている丸印番号は、調査項目の表示順の番号。

同様に、Table.11にADL・IADL項目と入院経験の有無との関連の結果を示した。入院経験の有り、なしでADL・IADLの各項目で得点の平均値による比較検討を行った結果、第1因子の「家計の管理」の2項目、第2因子の「家事」の1項目、第3因子の「他者との交流」の2項目、第4因子の「段取りと実行」の1項目、第5因子の「スムーズな身辺動作の衰え」の2項目、第7因子の「交通手段の利用」の1項目、第8因子の「感覚器官の衰え」の1項目、第9因子の「出版物を読む」の1項目において有意差が認められた。各因子の項目において、入院経験の有る者は、無い者に比してADL・IADLの自立度が低い結果であった。入院経験があることが、身体的動作の低下もさることながら社会的活動の低下と関連していることが示された。

Table11 ADL・IADL項目と入院経験の有無との関連

	入院経験	N	平均値	標準偏差	F 値	有意確率
ADL/IADL合計	有り	436	27.02	2.20	1.694	0.194
	なし	159	26.64	1.97		
①日用品の買い物をすることができますか	有り	436	0.94	0.23	10.958	0.001 **
	なし	159	0.97	0.16		
②銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	有り	436	0.87	0.33	12.974	0.000 **
	なし	159	0.92	0.26		
③自分で食事の用意ができますか	有り	436	0.95	0.22	7.409	0.007 **
	なし	159	0.97	0.16		
④自分で掃除ができますか	有り	436	0.98	0.14	5.943	0.015
	なし	159	0.99	0.08		
⑤友達の家を訪ねることがありますか	有り	436	0.90	0.30	9.590	0.002 **
	なし	159	0.94	0.24		
⑥家族や友人の相談にのることがありますか	有り	436	0.90	0.30	12.083	0.001 **
	なし	159	0.94	0.23		
⑦何かの会の世話係や会計係が務められますか	有り	436	0.53	0.50	92.584	0.000 **
	なし	159	0.72	0.45		
⑧はじめての場所でも一人で計画を立てて旅行することができますか	有り	436	0.47	0.50	3.409	0.065
	なし	159	0.57	0.50		
⑨手があがりによく洗髪がしづらいですか	有り	436	0.87	0.34	9.487	0.002 **
	なし	159	0.91	0.28		
⑩浴槽の出入りがつらいですか	有り	436	0.89	0.32	14.986	0.000 **
	なし	159	0.94	0.24		
⑪長時間歩くのがつらいですか	有り	436	0.57	0.50	19.420	0.000 **
	なし	159	0.65	0.48		
⑫多少の段差でつまずくことがありますか	有り	436	0.62	0.48	1.238	0.266
	なし	159	0.65	0.48		
⑬一人でバスや電車などを利用して、あるいは自分で車を運転して出かけることができますか	有り	436	0.83	0.38	7.235	0.007 **
	なし	159	0.87	0.33		
⑭バスや電車などを使って一人で外出しますか	有り	436	0.88	0.33	0.312	0.577
	なし	159	0.89	0.32		
⑮食べ物の味がよくわからなくなってきたと感じますか	有り	436	0.90	0.30	2.019	0.156
	なし	159	0.92	0.27		
⑯においがぶくなってきたと感じますか	有り	436	0.86	0.34	8.452	0.004 **
	なし	159	0.91	0.29		
⑰新聞を読んでいますか	有り	436	0.92	0.27	1.575	0.210
	なし	159	0.94	0.24		
⑱本や雑誌を読んでいますか	有り	436	0.56	0.50	8.912	0.003 **
	なし	159	0.62	0.49		
⑲自分で電話をかけますか	有り	436	0.98	0.15	2.560	0.110
	なし	159	0.99	0.11		
⑳自分で電話番号を調べて電話をかけることができますか	有り	436	0.98	0.13	3.395	0.066
	なし	159	0.99	0.08		

** : p<0.01, * : p<0.05

注) 項目内容の項目文の先頭についている丸印番号は、調査項目の表示順の番号。